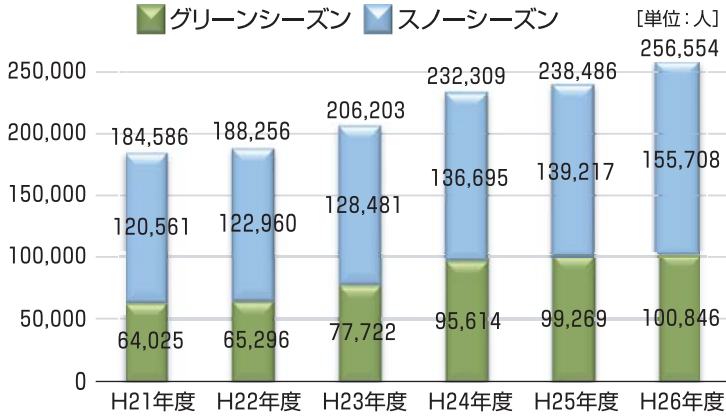


富士見パノラマリゾートの経営状況をお知らせします

問 産業課 商工観光係 ☎62-9228

(1) 来場者の状況 ～スキー・グリーンシーズンとも順調な増加傾向～



スノーシーズン
前年比 112%
スキー・スノーボードで賑わうほか、入笠山へのスノーシューの人気が高い。



グリーンシーズン
前年比 102%
山頂駅の山野草公園では、様々な山野草が咲き移り、訪れる観光客を楽しませている。

グリーンシーズンは、7月、8月の最盛期に台風や雷雨、豪雨に見舞われたものの、山野草公園、入笠湿原、御所平峠お花畑など入笠地区の一体的な環境維持管理により、シーズンを通じて近年では最高の開花状況に恵まれ、前年比 102% となり目標に掲げた 10 万人を突破しました。

スキーシーズンは、噴火や県北部地震による県内スキー場への影響が懸念されましたが、安定した造雪により順調にオープンでき、また、良好なゲレンデコンディションを確保したことにより、前年比 112%、15 万人を突破することができました。パノラマリゾートは、年間 25 万人が訪れる観光地となっています。

(2) 決算の状況 ～売上の増加により健全な利益計上～

[単位:千円]

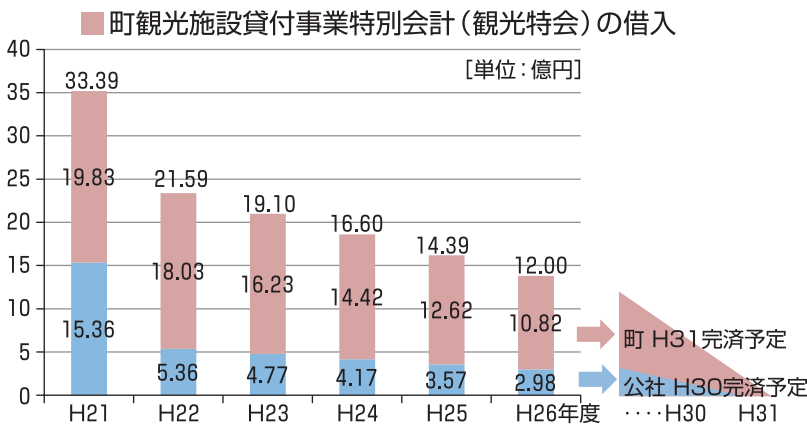
科目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
営業収支	671,351	675,328	722,464	787,318	808,028	877,652
営業費用	570,271	685,406	630,131	638,424	649,911	744,255
営業利益	101,080	△10,079	92,333	148,894	158,117	133,397



待合所とトイレを併設した複合施設(県産材使用)

パノラマリゾートは、町の支援を受けながら総体的には売上の増加を維持し、連続して健全な営業利益を計上しています。営業外収支は除いています。

(3) 町・開発公社連結借入金の推移 ～再建計画により返済中～



観光特会返済分 平成14年、15年度に上下分離方式による資産所有形態の見直しにより、観光特会が開発公社から資産買取りを実施した際の起債返済分

開発公社返済分 観光特会、開発公社とも、計画どおりに返済を行っています。(平成21年度に経営改善のため町が開発公社へ10億円の大型貸付を実施、以降、毎年5千万円の貸付を実施することで支援している。) ※上記借入金の返済後、平成32年度から開発公社から町へ賃料・貸付金の本格的な返済計画がスタートします。

(4) 実質的な一般会計への貢献度

